

- | | | |
|------------|-----------|---|
| 本社 | 〒590-0157 | 大阪府堺市南区高尾1丁527-1
TEL.(072)274-5556 FAX.(072)349-8886 |
| 札幌営業所 | 〒002-8081 | 北海道札幌市北区百合が原7-1-30
TEL.(011)776-3111 FAX.(011)776-3112
E-mail : sapporo@kyospe.co.jp |
| 仙台営業所 | 〒983-0034 | 宮城県仙台市宮城野区扇町4-6-15
TEL.(022)782-3211 FAX.(022)782-3215
E-mail : sendai@kyospe.co.jp |
| 埼玉営業所 | 〒338-0002 | 埼玉県さいたま市中央区下落合1013-1スピカビル2階
TEL.(048)606-3368 FAX.(048)826-6730
E-mail : saitama@kyospe.co.jp |
| 千葉野田物流センター | 〒270-0222 | 千葉県野田市木間ヶ瀬5210-3
FAX.(04)7198-8212
E-mail : chibanoda@kyospe.co.jp |
| 千葉北営業所 | 〒262-0012 | 千葉県千葉市花見川区千種町286-1
TEL.(043)307-8261 FAX.(043)307-8262
E-mail : chibakita@kyospe.co.jp |
| 新宿営業所 | 〒160-0022 | 東京都新宿区新宿2-1-11 御苑スカイビル9F
TEL.(03)5362-7711 FAX.(03)5362-7712
E-mail : shinjuku@kyospe.co.jp |
| 葛飾物流センター | 〒124-0023 | 東京都葛飾区東新小岩2-1-4
FAX.(03)5672-1052 |
| 立川出張所 | 〒190-0013 | 東京都立川市富士見町1-34-1 天野ビル602号室
TEL.(042)512-7251 FAX.(042)512-7252 |
| 横浜営業所 | 〒223-0057 | 神奈川県横浜市港北区新羽町2041
TEL.(045)540-6211 FAX.(045)540-6212
E-mail : yokohama@kyospe.co.jp |
| 中部営業所 | 〒491-0827 | 愛知県一宮市三ツ井3-5-22
TEL.(0586)75-3381 FAX.(0586)75-3390
E-mail : chubu@kyospe.co.jp |
| 北陸営業所 | 〒924-0812 | 石川県白山市橋爪町514-3
TEL.(076)274-0445 FAX.(076)274-0446
E-mail : hokuriku@kyospe.co.jp |
| 京都営業所 | 〒612-0822 | 京都府京都市伏見区深草鞆ヶ谷43-1
TEL.(075)642-0820 FAX.(075)642-0850
E-mail : kyoto@kyospe.co.jp |
| 大阪営業所 | 〒590-0157 | 大阪府堺市南区高尾1丁527-1
TEL.(072)274-2011 FAX.(072)275-0087
E-mail : osaka@kyospe.co.jp |
| 兵庫営業所 | 〒671-1557 | 兵庫県揖保郡太子町阿曾88
TEL.(079)276-3890 FAX.(079)276-3891
E-mail : himeji@kyospe.co.jp |
| 四国営業所 | 〒768-0014 | 香川県観音寺市流岡町946-1
TEL.(0875)57-5811 FAX.(0875)57-5815
E-mail : shikoku@kyospe.co.jp |
| 福岡営業所 | 〒812-0892 | 福岡県福岡市博多区東那珂3-6-62
TEL.(092)624-2011 FAX.(092)624-2012
E-mail : fukuoka@kyospe.co.jp |
| 大牟田営業所 | 〒836-0067 | 福岡県大牟田市四山町80-97
TEL.(0944)57-2011 FAX.(0944)57-2611
E-mail : omuta@kyospe.co.jp |



QRコードでKSクルリンサイトにアクセスできます。

<関連会社>

- 株式会社 京スぺハローサービス …… 現場での各種イベント請負会社
〒590-0142 大阪府堺市南区榎尾3852-7
TEL.(072)272-4600 FAX.(072)274-1226
- 大連伸宏建築材料有限公司 …… 株式会社 京都スぺーサーの自社製品製造工場



「クルリン®」は、
株式会社 京都スぺーサーの登録商標です。

NETIS登録番号
KK-120075-VE



無溶接金具

(場所打ちコンクリート杭
連続地中壁)

KS クルリン®

商標登録 登録第5653584号

施工の手引き



KS クルリン® 施工の手引き

平成24年3月改訂の道路橋示方書に「鉄筋かごの組立てにあたっては、形状保持などのための溶接を行ってはならない」との記述が追記されました。

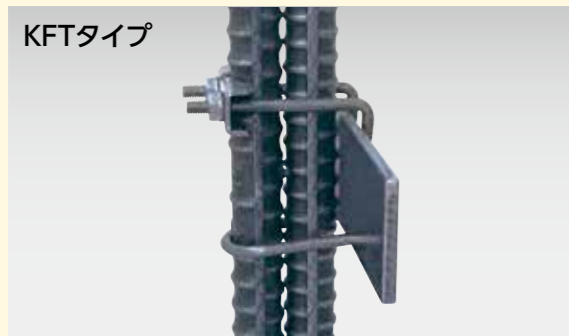
したがって場所打ちコンクリート杭等の組立時には従来の溶接に変わる専用金具が必要となります。京都スペーサーは無溶接化に協力します。

※NETIS登録 KK-120075-A→KK-120075-VEへ

(安定的な効果が見込める技術「VE」登録へ変更になりました。事後評価の必要が無く、施工後の事務処理が軽減されます。)

特長①

組立補強材の部材形状に合せた金具をご用意しますので、設計図書通りの鉄筋かごを造ることができます。



特長②

主筋と組立補強材の接合方法に合わせ、物件毎にオーダーメイドで無溶接金具を造るため、強固にかつコンパクトに接合できます。

特長③

KSクルリンの構造はきわめてシンプル。「安全に」「楽に」「速く」「安く」仕上げるすることができます。

特長④

KSクルリンと“ねじれ防止金具”を併用することにより座屈事故の主因と思われる「かご筋のねじれ」を防止します。



特長⑤

KSクルリンは「緩み止めナット」を標準装備することで運搬時の振動によるナットの緩みを防ぎます。

● KSクルリン以外の金具は通常のナットを使用しています



※ 建築工事で採用される事が多い、束ね筋（主筋2本）用の金具もご用意できます。ご相談下さい。
※ 製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

鉄筋かご模式図 (数量算出基準)

① KSクルリン 主筋と組立補強材固定用

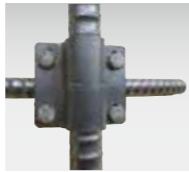
KDタイプ (補強材: 異形鉄筋)

※①のねじれ防止金具と併用が効果的です。



① ねじれ防止金具 主筋と組立補強材固定用

※補強材の円周あたり4~6ヶ所使用して下さい。



ねじれ防止金具使用ヶ所以外はKDタイプで固定

KFタイプ (補強材: 平鋼)

KFDタイプ (補強材: 平鋼+異形鉄筋)

KAタイプ (補強材: アングル)



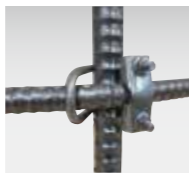
KSクルリンで全数固定

② KSクルリン(帯筋用) 主筋と帯筋固定用

KD-Sタイプ (帯筋が大径(D25)以上となるかご筋に使用)

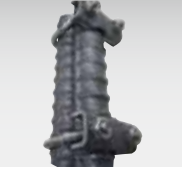
●D16~22程度の帯筋は番線固定をおすすめします。

※帯筋の円周あたり3ヶ所使用し、未使用ヶ所は番線等で補強して下さい。



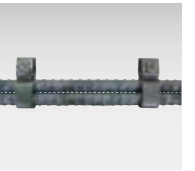
③ 主筋重ね継手固定金具 主筋と主筋固定用

※重ね継手1ヶ所当り2ヶで固定して下さい。
 ※重ね継手部の全数(半数)に使用し、未使用ヶ所は番線等で補強して下さい。
 ※数量はお客様との相談により決定いたします。



④ フープバンド 帯筋の重ね継手固定用

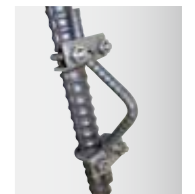
※帯筋の重ね継手1ヶ所当り1ヶ~2ヶで固定して下さい。未使用ヶ所は、番線等で補強して下さい。
 ※数量はお客様との相談により決定いたします。



⑤ スペース固定金具 主筋とスペース固定用

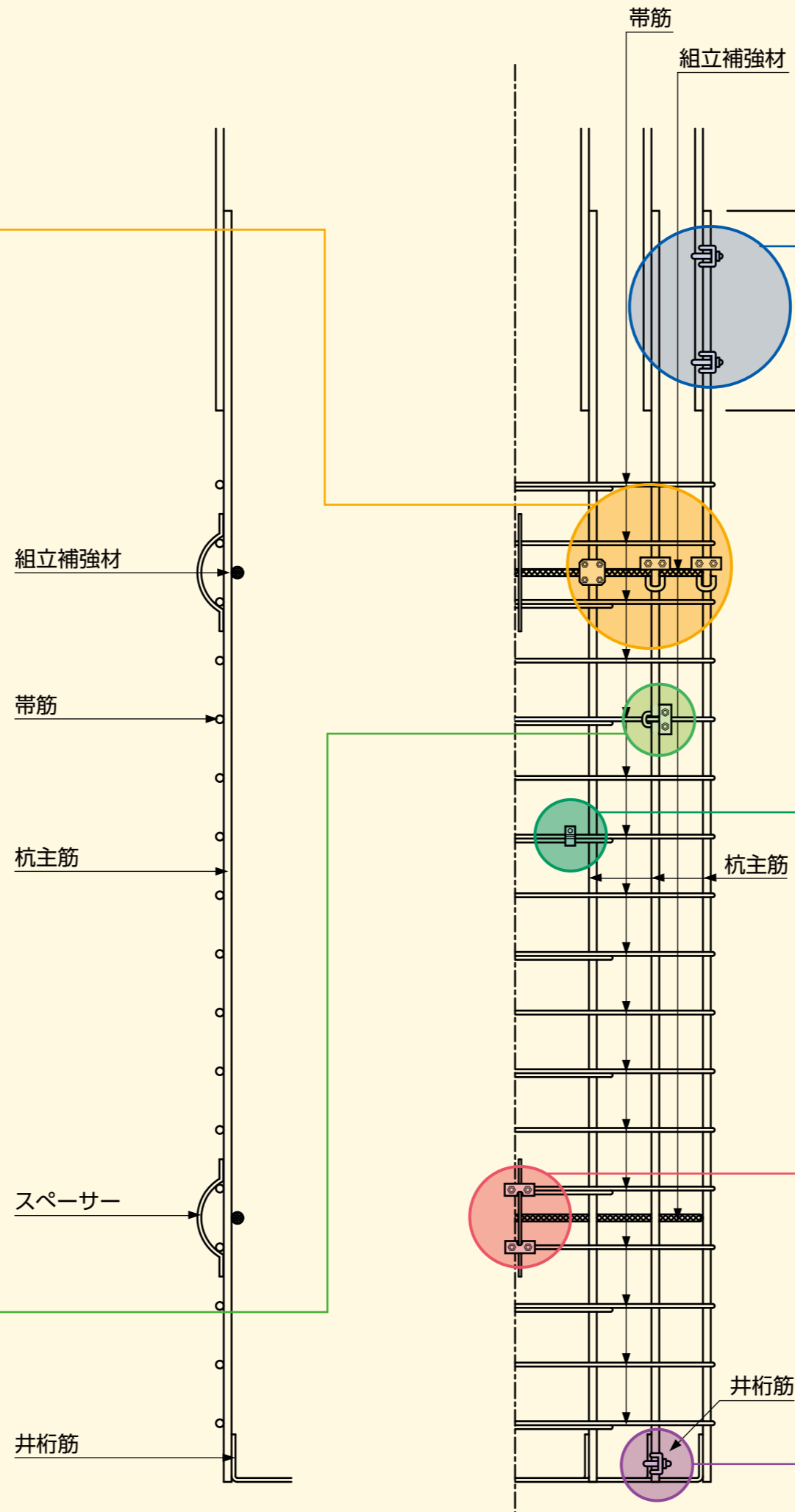
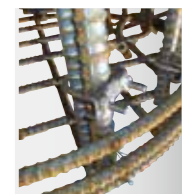
●スペースは現場加工品を利用可能です。

※スペース1ヶ所当り2ヶで固定して下さい。
 ※杭径φ1500以上は、杭頭部のみスペース6ヶ所以上使用する事をお勧めします。



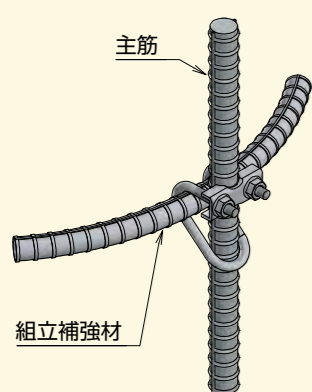
⑥ 井桁筋固定金具 井桁筋固定用

※主筋の本数÷2の個数を標準の使用数量とし、未使用ヶ所は番線等で補強して下さい。
 ※数量はお客様との相談により決定いたします。

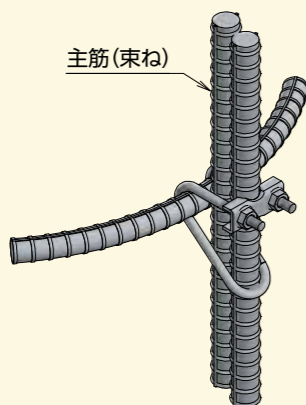


KD 主筋+組立補強材(異形筋)

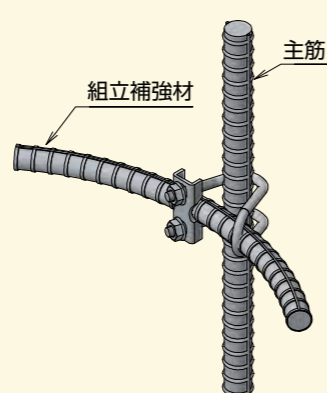
KD-S



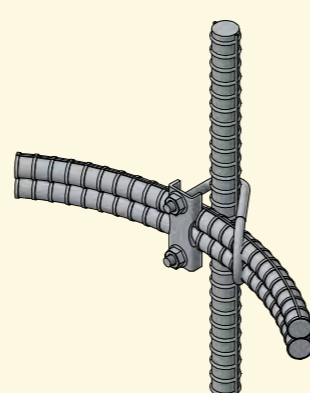
KDT-S



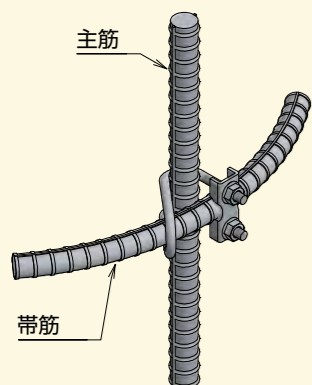
KD-S(内留)



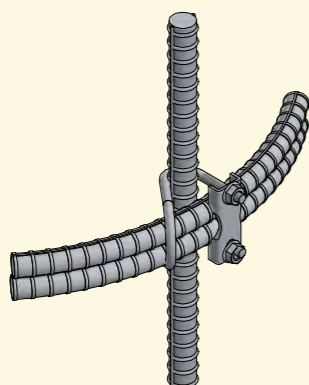
KD-W(内留)



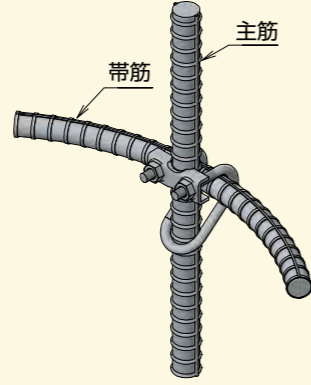
KD-S(帯筋用)



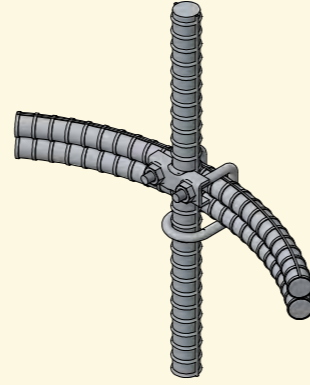
KD-W(帯筋用)



KD-S(帯筋用内留)

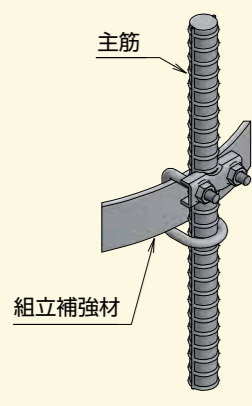


KD-W(帯筋用内留)

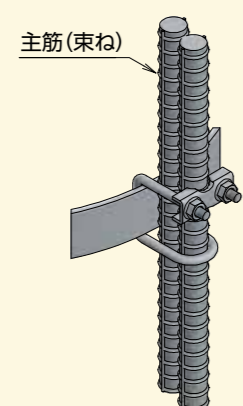


KF 主筋+組立補強材(フラットバー)

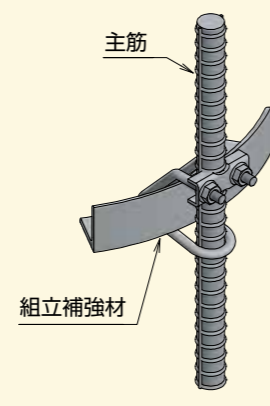
KF-S



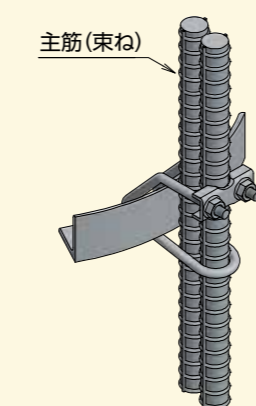
KFT-S



KA

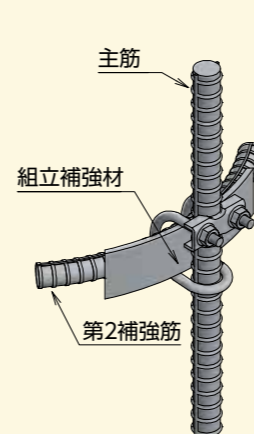


KAT

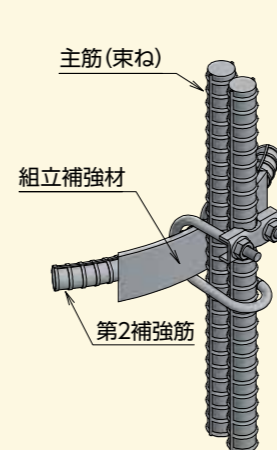


KFD 主筋+組立補強材(フラットバー)+第2補強筋(異形筋)

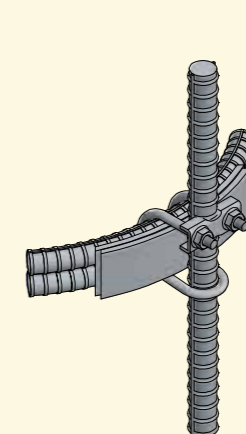
KFD-S
(FB+異形筋+主筋)



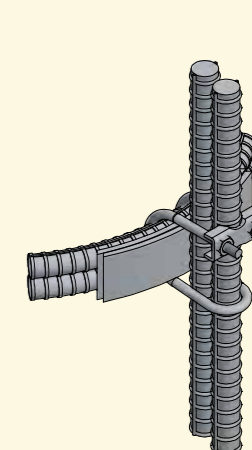
KFDT-S
(FB+異形筋+主筋×2)



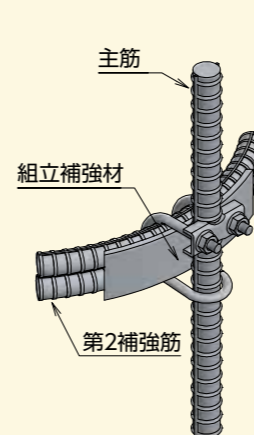
KFD-W
(FB×2+異形筋×2+主筋)



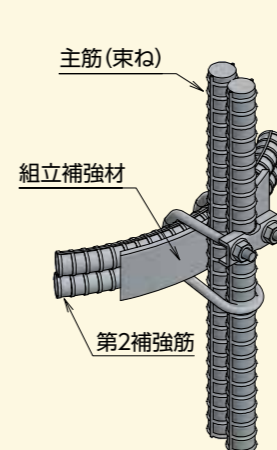
KFDT-W
(FB×2+異形筋×2+主筋×2)



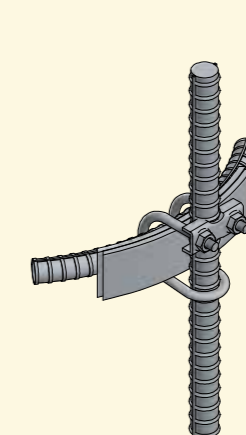
KFD-SW
(FB+異形筋×2+主筋)



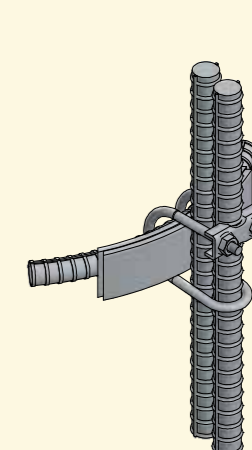
KFDT-SW
(FB+異形筋×2+主筋×2)



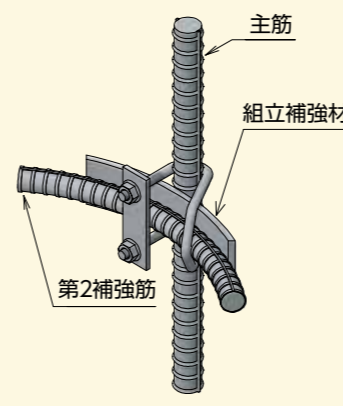
KFD-WS
(FB×2+異形筋+主筋)



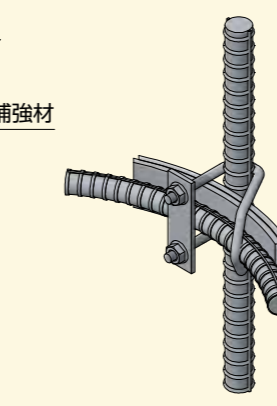
KFDT-WS
(FB×2+異形筋+主筋×2)



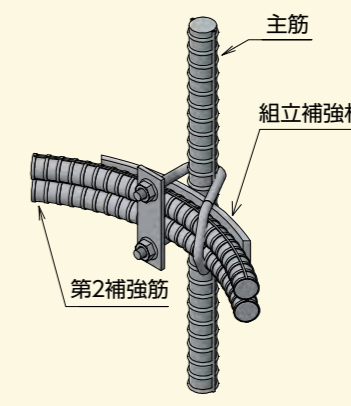
KFD-S(内留)
(FB+異形筋+主筋)



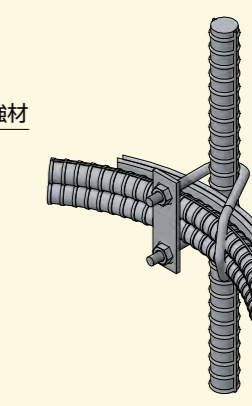
KFD-WS(内留)
(FB×2+異形筋+主筋)



KFD-SW(内留)
(FB+異形筋×2+主筋)



KFD-W(内留)
(FB×2+異形筋×2+主筋)



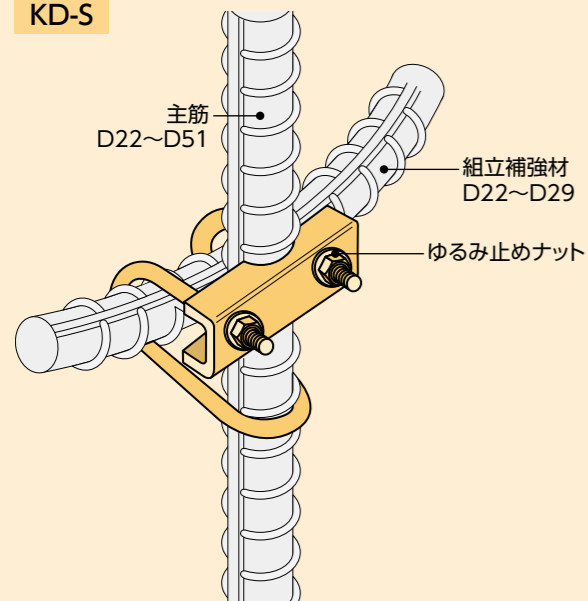
無溶接金具 ① KSクルリン

KDタイプ (補強材:異形鉄筋)

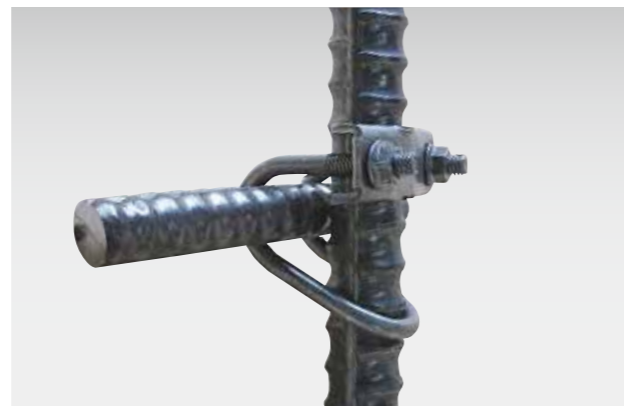
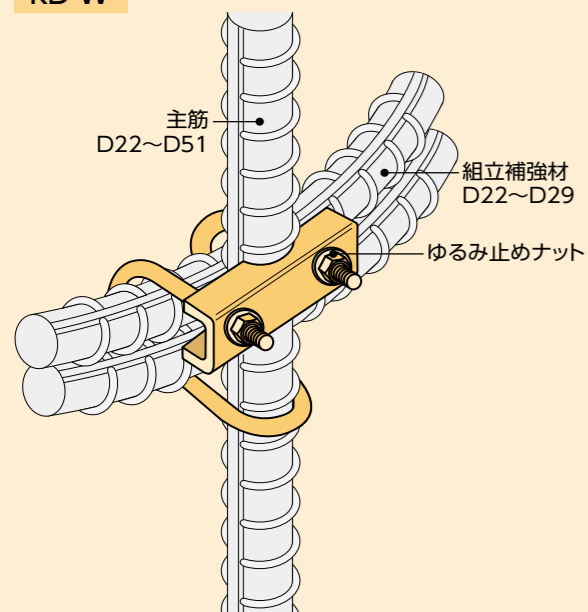
用途

主筋と組立補強材の固定用

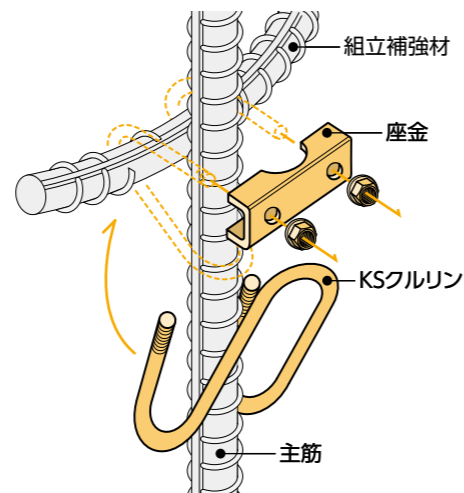
KD-S



KD-W



取付要領



設計強度

KN/ヶ所 (ヶ所)

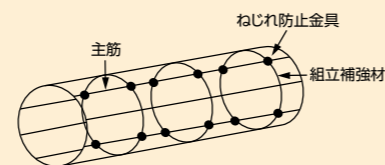
規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D22~51 × 補強材 D22~29	90 (9)	45.0 (4.5)	F=2

●最大荷重は公的機関(引張試験報告書)からの数値を引用しています。

取付の注意点

※ 組立補強材の重ね継手部と主筋が交差する部分にはWタイプ(KD-W)をご使用下さい。その他はSタイプ(KD-S)で結構です。

※ KDタイプはねじれ剛性補強の為、「ねじれ防止金具」の併用が効果的です。(組立補強材1本当り4~6ヶ)



※ 主筋と組立補強材の交点は、全数金具で固定するようお願いいたします。

※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下10N・m以上で管理をお願いします。

※ 金具の取付方向は、座金が上側にくるようにしていただければ鉄筋かごの仮受け時に金具が作業のじゃまをする事が少ないと思います。(かんざし角パイプ挿入等)

※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

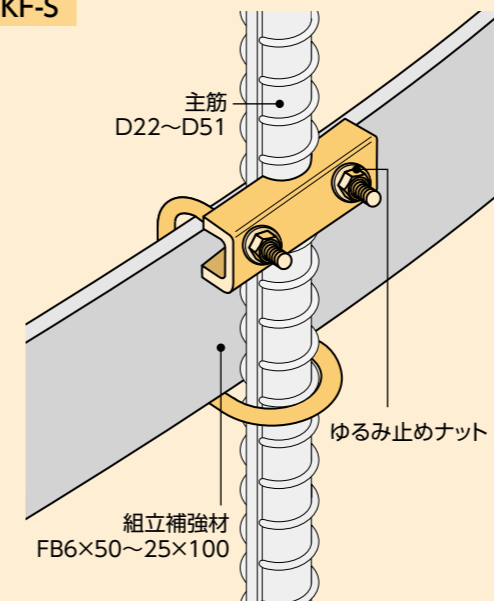
無溶接金具 ① KSクルリン

KFタイプ (補強材:平鋼)

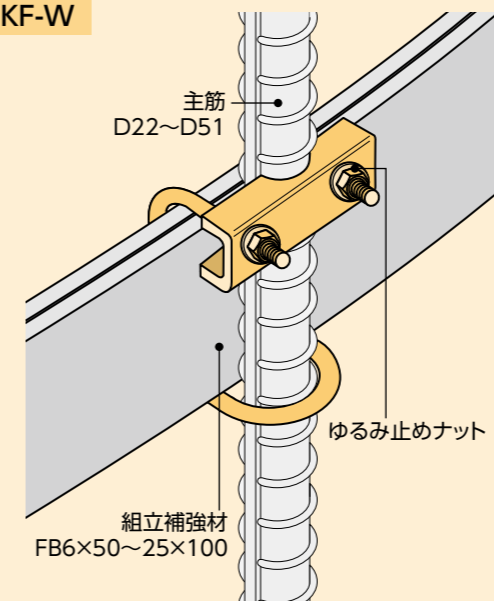
用途

主筋と組立補強材の固定用

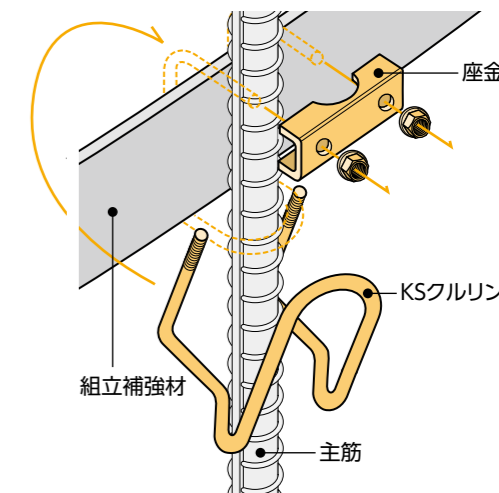
KF-S



KF-W



取付要領



設計強度

KN/ヶ所 (ヶ所)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D22~51 × 補強材 FB6x50~25x100	90 (9)	45.0 (4.5)	F=2

●最大荷重は公的機関(引張試験報告書)からの数値を引用しています。

取付の注意点

※ 組立補強材の重ね継手部と主筋が交差する部分にはWタイプ(KF-W)をご使用下さい。その他はSタイプ(KF-S)で結構です。

※ 主筋と組立補強材の交点は、全数金具で固定するようお願いいたします。

※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下10N・m以上で管理をお願いします。

※ 金具の取付方向は、座金が上側にくるようにしていただければ鉄筋かごの仮受け時に金具が作業のじゃまをする事が少ないと思います。(かんざし角パイプ挿入等)

※ お願いとなりますが、吊込時に組立補強材に変形がおきる事のない部材設定をお願いします。変形がおきるとその付近の金具がゆるむ事があるので、安全第一でお願いします。

※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

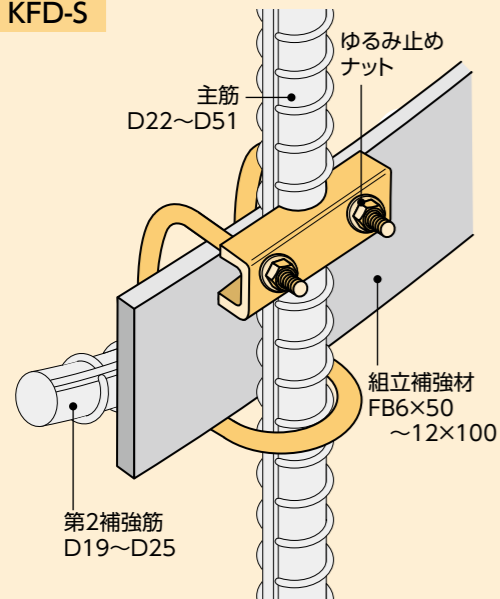
無溶接金具 ① KSクルリン

KFDタイプ (補強材:平鋼+異形鉄筋)

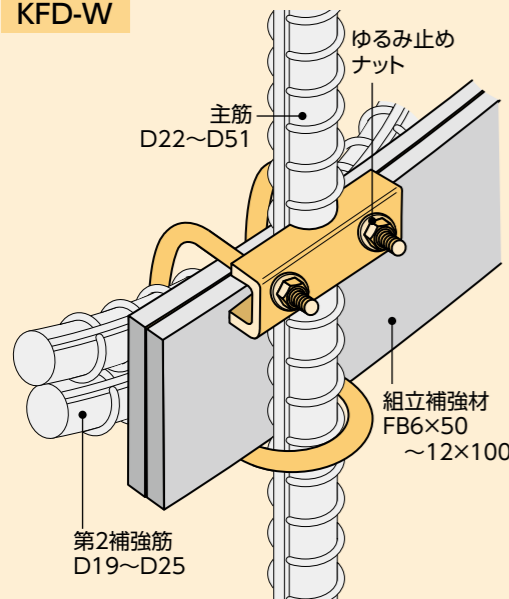
用途

主筋と組立補強材の固定用

KFD-S



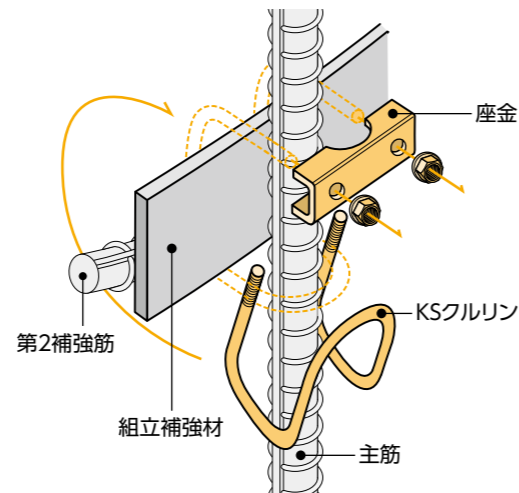
KFD-W



※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。



取付要領



設計強度

KN/ヶ所 (L/ヶ所)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D22~51 × 補強材につきましては問い合わせをお願い致します	90 (9)	45.0 (4.5)	F=2

●最大荷重は公的機関(引張試験報告書)からの数値を引用しています。

取付の注意点

- ※ KFD-Wにつきましては、弊社の標準はFB-W鉄筋-WIになっていますので、ご注文の際は確認をお願い致します。
- ※ 組立補強材の重ね継手部は平鋼と第2補強筋も同一部分に合わせるよう加工して下さい。また異形鉄筋は平鋼のセンターに配置していただきますようお願い致します。
※位置ずれにより金具寸法が不足する場合があります。
- ※ 組立補強材の重ね継手部と主筋が交差する部分にはWタイプ(KFD-W)をご使用下さい。その他はSタイプ(KFD-S)で結構です。
- ※ 主筋と組立補強材の交点は、全数金具で固定するようお願い致します。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。
また締付トルクは25以下10N・m以上で管理をお願い致します。
- ※ 金具の取付方向は、座金が上側にくるようにしていただければ鉄筋かごの仮受け時に金具が作業のじゃまをする事が少ないと思います。(かんざし角パイプ挿入等)
- ※ お願いとなりますが、吊込時に補強材に変形がおきる事のない部材設定をお願い致します。変形がおきるとその付近の金具がゆるむ事があるので、安全第一でお願いします。

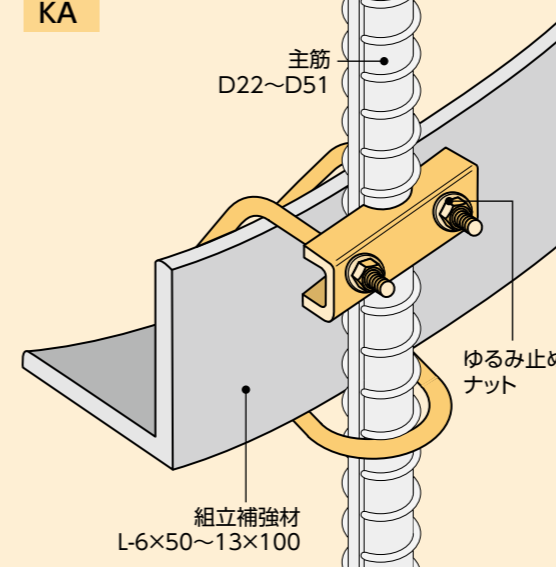
無溶接金具 ① KSクルリン

KAタイプ (補強材:アングル)

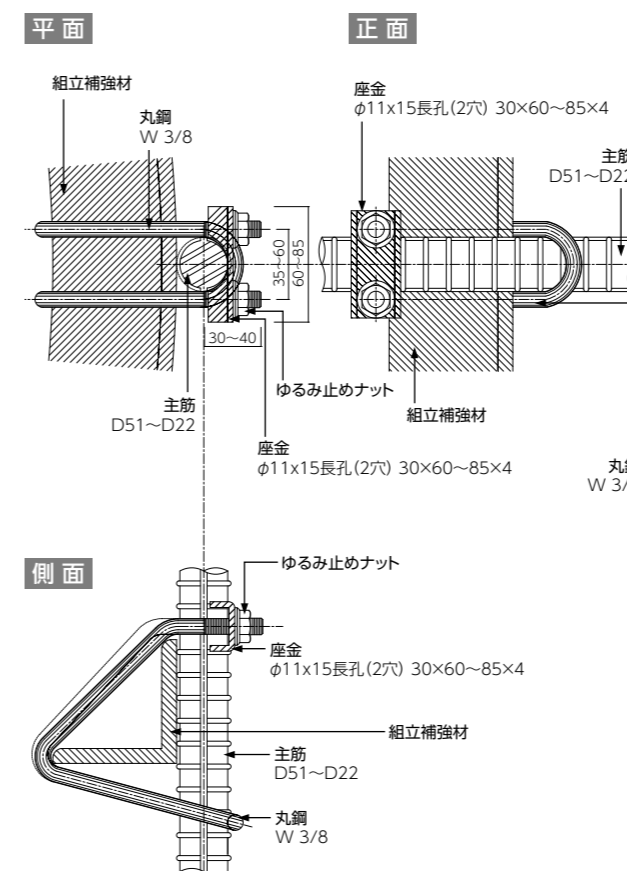
用途

主筋と組立補強材の固定用

KA



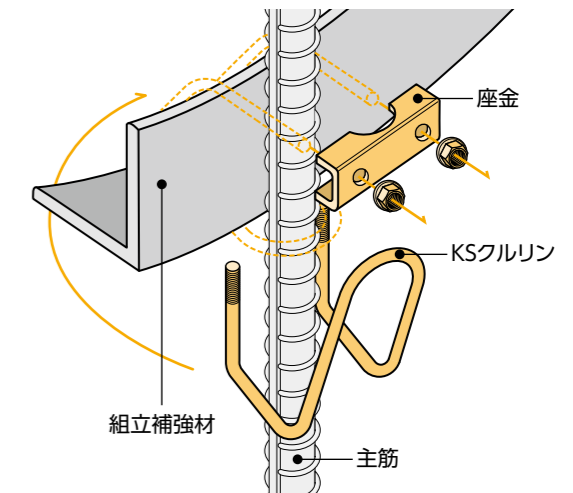
製品図面



※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。



取付要領



設計強度

KN/ヶ所 (L/ヶ所)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D22~51 × 補強材につきましては問い合わせをお願い致します	90 (9)	45.0 (4.5)	F=2

●最大荷重は公的機関(引張試験報告書)からの数値を引用しています。

取付の注意点

- ※ 主筋と組立補強材の交点は、全数金具で固定するようお願い致します。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。
また締付トルクは25以下10N・m以上で管理をお願い致します。
- ※ 金具の取付方向は、座金が上側にくるようにしていただければ鉄筋かごの仮受け時に金具が作業のじゃまをする事が少ないと思います。(かんざし角パイプ挿入等)
- ※ お願いとなりますが、吊込時に補強材に変形がおきる事のない部材設定をお願い致します。変形がおきるとその付近の金具がゆるむ事があるので、安全第一でお願いします。

無溶接金具 ① ねじれ防止金具

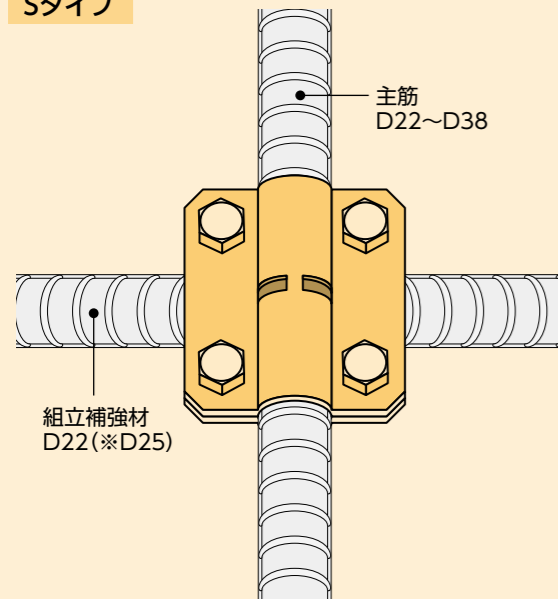
適合サイズ

主筋 D22~38×組立補強材D22

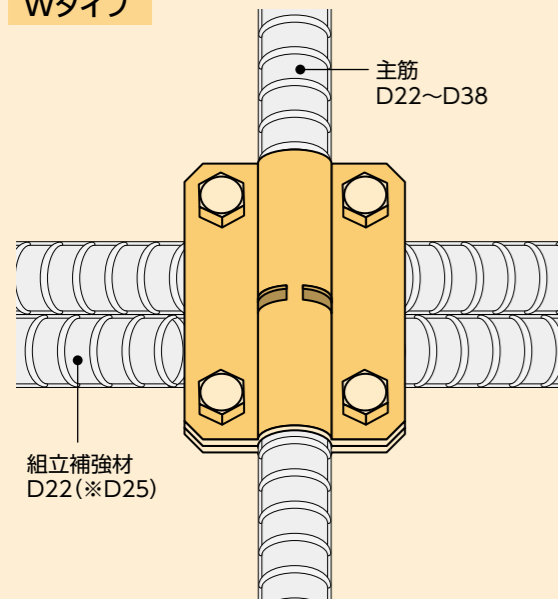
用途

主筋と組立補強材のねじれ防止用

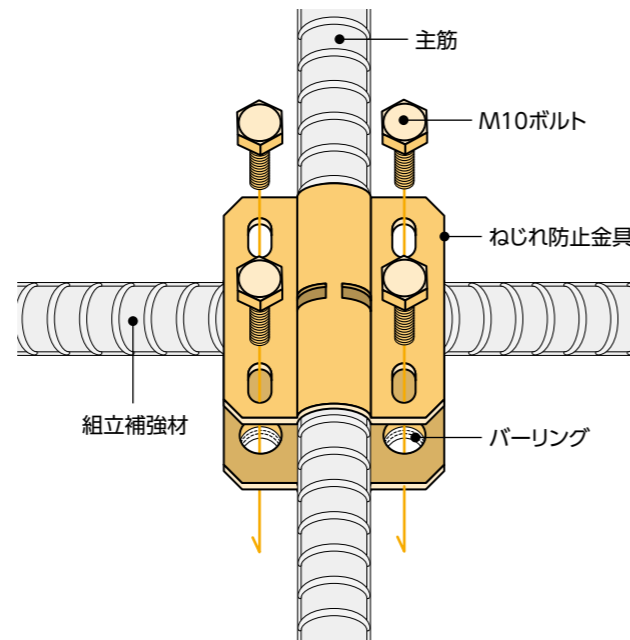
Sタイプ



Wタイプ



取付要領



取付の注意点

- ※ 組立補強材がD22の場合のみ対応しています。(D25は受注生産にて対応しています。納期のご確認をお願いいたします。)
- ※ 組立補強材の重ね継手部と主筋が交差する部分にはWタイプをご使用下さい。その他はSタイプで結構です。(組立補強材1本当たり4~6ヶ所取付)
- ※ KSクルリン KDタイプのねじれ剛性補強用金具です。KDタイプと併せてご使用する事をおすすめします。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下20N・m以上で管理をお願いします。

※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

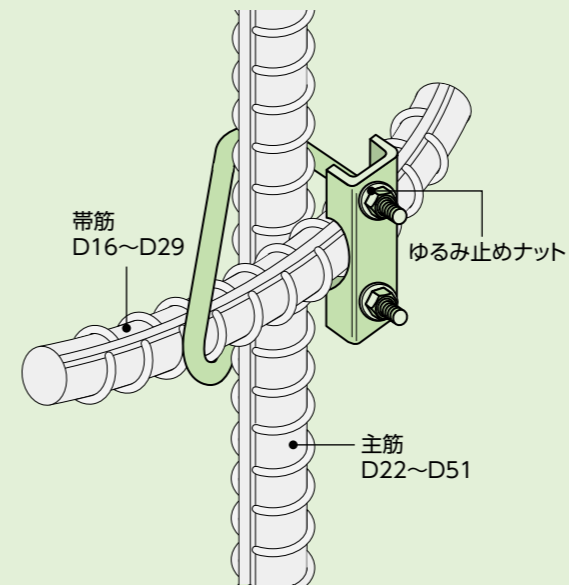
無溶接金具 ② KSクルリン

KD-Sタイプ(帯筋用)
KD-Wタイプ(帯筋用)

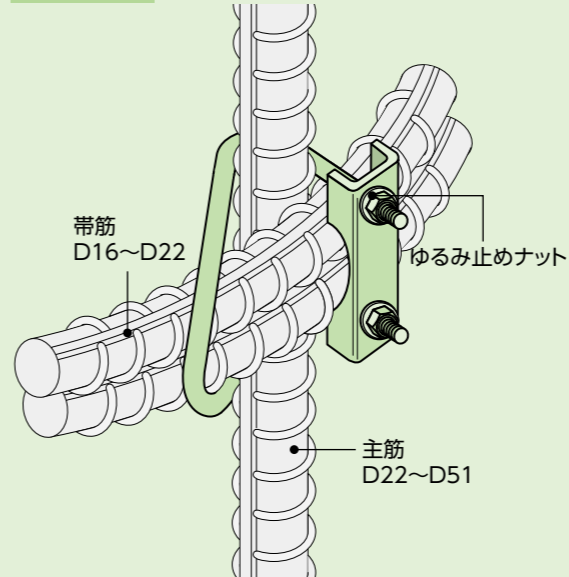
用途

主筋と帯筋の固定用

Sタイプ



Wタイプ

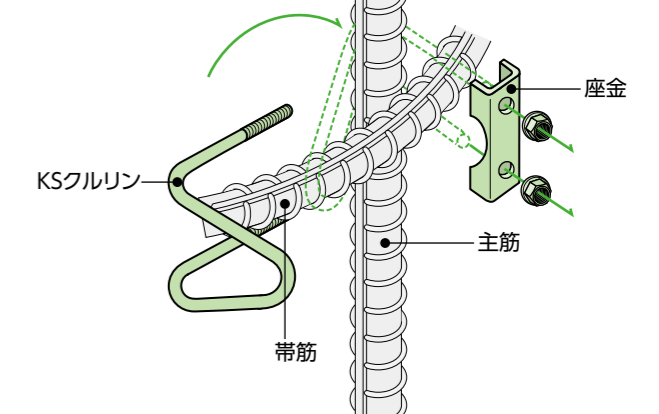


※Wタイプの場合、帯筋はD16~D22までの対応となります。

※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

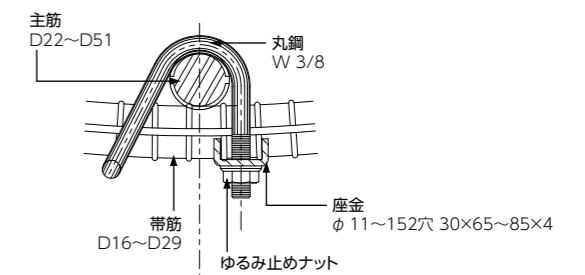


取付要領

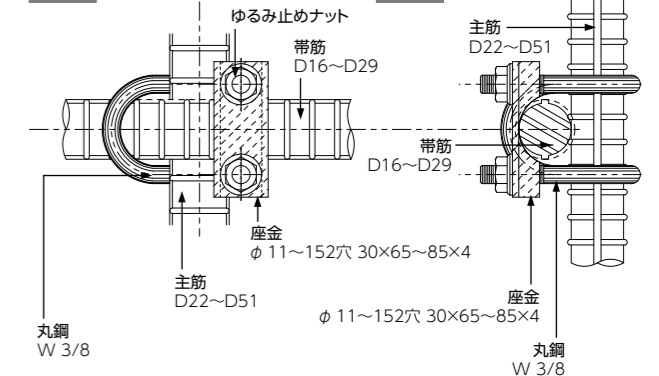


製品図面

平面



正面



取付の注意点

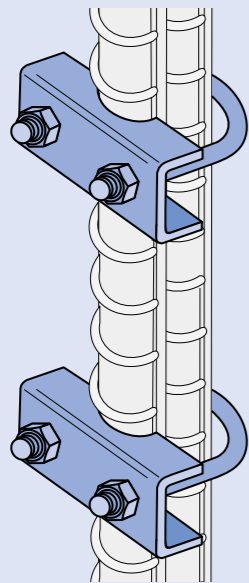
- ※ 帯筋がD13の場合は対応できません。
- ※ 帯筋1本に対し(重ね継手部を外し)3ヶ所を固定し、他の部分については必要と思われるヶ所について番線等で固定して下さい。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下10N・m以上で管理をお願いします。

無溶接金具 ③ 主筋重ね継手固定金具

適合サイズ 主筋 D22~D51

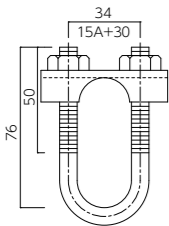
用途

主筋と主筋の固定用

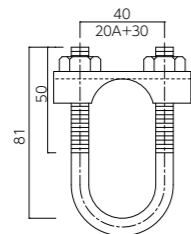


製品図面

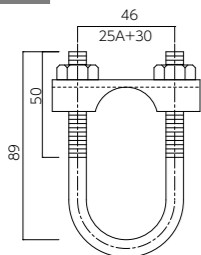
D22



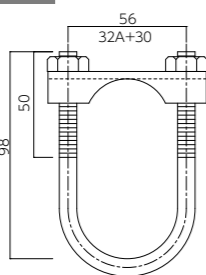
D25~29



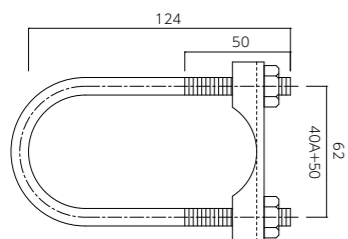
D32~35



D38~41



D51



※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

設計強度

(縦2本束ね)

KN/ヶ所
(t/ヶ所)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D22~D51 × D22~D51	90 (9.0)	45.0 (4.5)	F=2

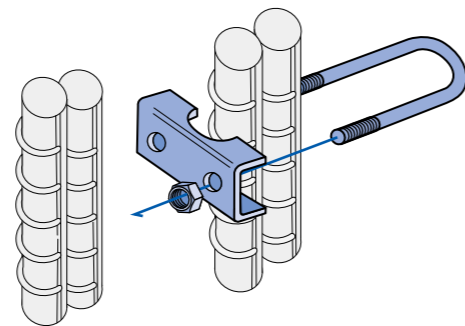
●最大荷重は公的機関(引張試験報告書)からの数値を引用しています。

取付の注意点

- ※ 重ね継手1ヶ所当り2ヶで固定して下さい。重ね継手部の全数(半数)に使用し、未使用ヶ所は番線等で補強して下さい。
- ※ 主筋は可能な限りリブの山谷をからめる方向で固定する事で抵抗を増し安全に作業を行えると思います。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下20N・m以上で管理をお願いします。



取付要領



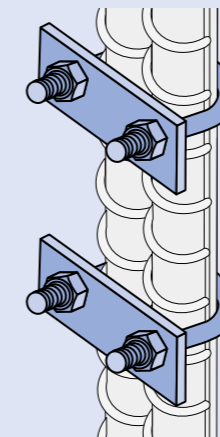
無溶接金具 ③ 主筋重ね継手固定金具

適合サイズ 主筋 D25~D51

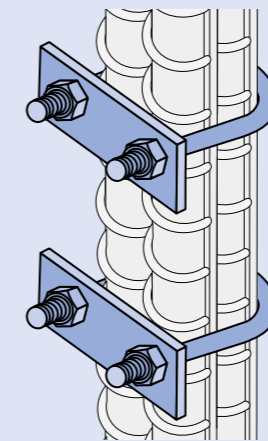
用途

主筋と主筋の固定用

横2本束ね

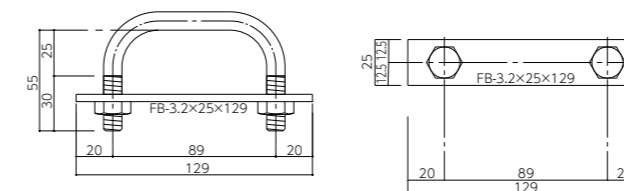


4本束ね

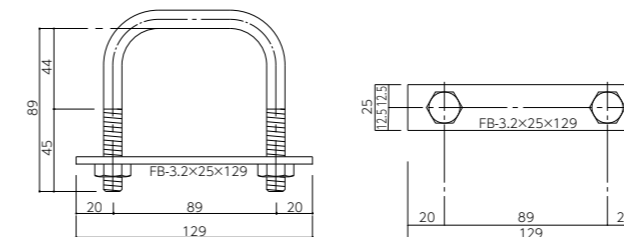


製品図面 (例 D35×D35用)

横2本束ね



4本束ね



※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

設計強度

(横2本束ね/平板 t3.2)

KN/ヶ所
(t/ヶ所)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D25~D51 × D25~D51	90 (9.0)	45.0 (4.5)	F=2

●最大荷重は社内試験の数値を引用しています。

(4本束ね/平板 t3.2)

規格	最大荷重(破断)	許容支持力*	安全率(F)
主筋 D25~D51 × D25~D51	55 (5.5)	27.5 (2.75)	F=2

●最大荷重は社内試験の数値を引用しています。

取付の注意点

- ※ 重ね継手1ヶ所当り2ヶで固定して下さい。重ね継手部の全数(半数)に使用し、未使用ヶ所は番線等で補強して下さい。
- ※ 主筋は可能な限りリブの山谷をからめる方向で固定する事で抵抗を増し安全に作業を行えると思います。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下20N・m以上で管理をお願いします。

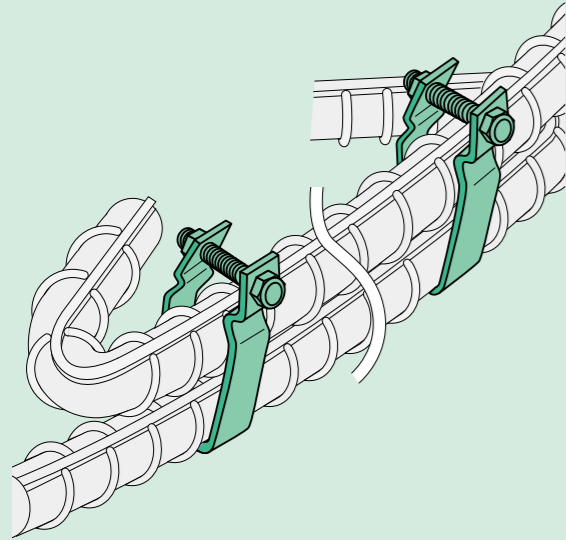


無溶接金具 ④ フープバンド

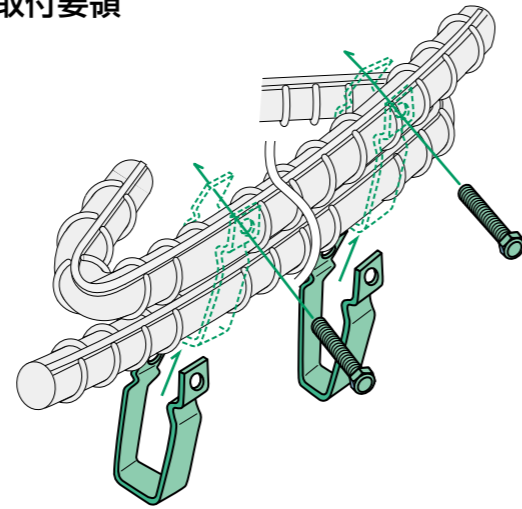
適合サイズ **D16×2~D25×2**

用途

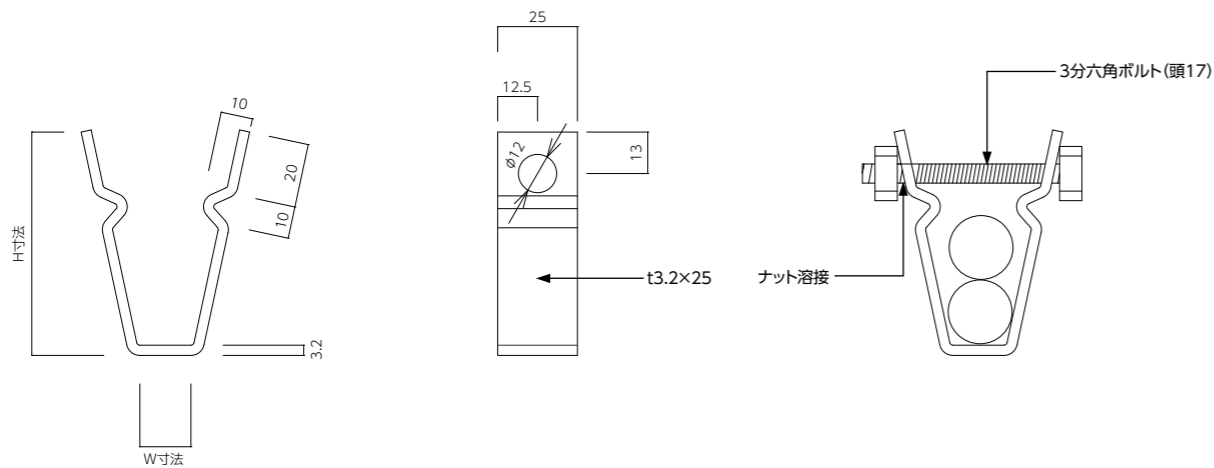
帯筋の重ね継手固定用



取付要領



製品図面 (例 D22×D22用)



取付の注意点

- ※ 帯筋の重ね継手1ヶ所当り1ヶ~2ヶで固定して下さい。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは15以下10N・m以上で管理をお願いします。
- ※ フレア溶接の強度を持ち合せた金具ではありません。

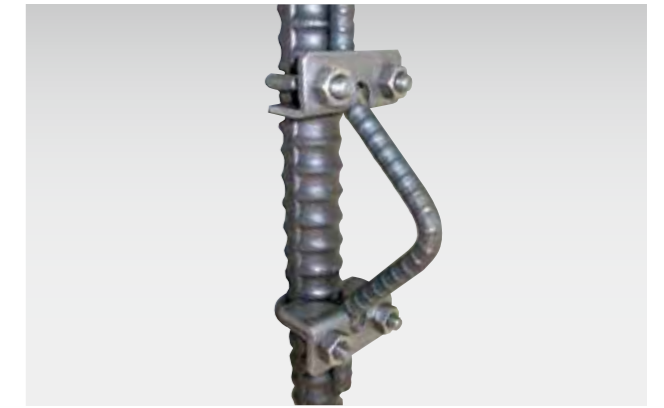
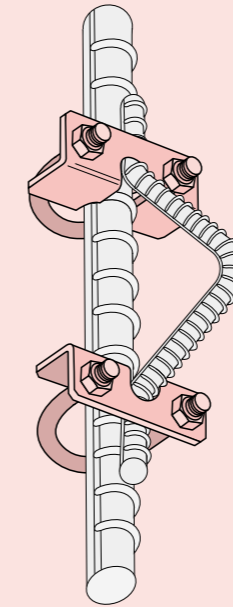
※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

無溶接金具 ⑤ スペース固定金具

適合サイズ **主筋 D22~D41**

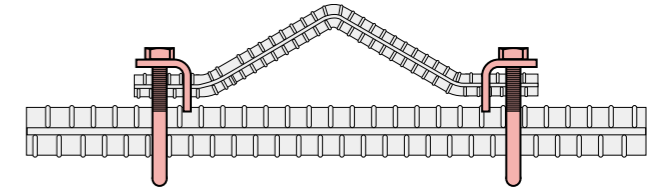
用途

主筋とスペーサーの固定用

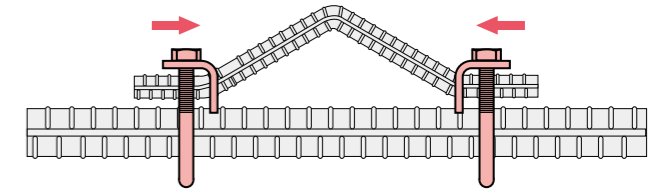


取付要領

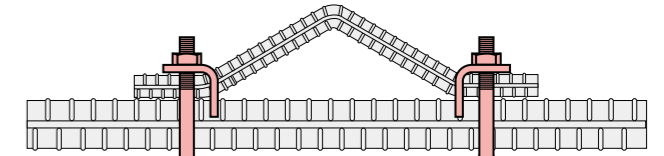
- 1 仮り止め
座金とUボルトを主筋に仮り止めた後スペーサーを入れる。



- 2 中央に寄せる
スペーサーの中央に座金を寄せながら片方ずつ締めていく。

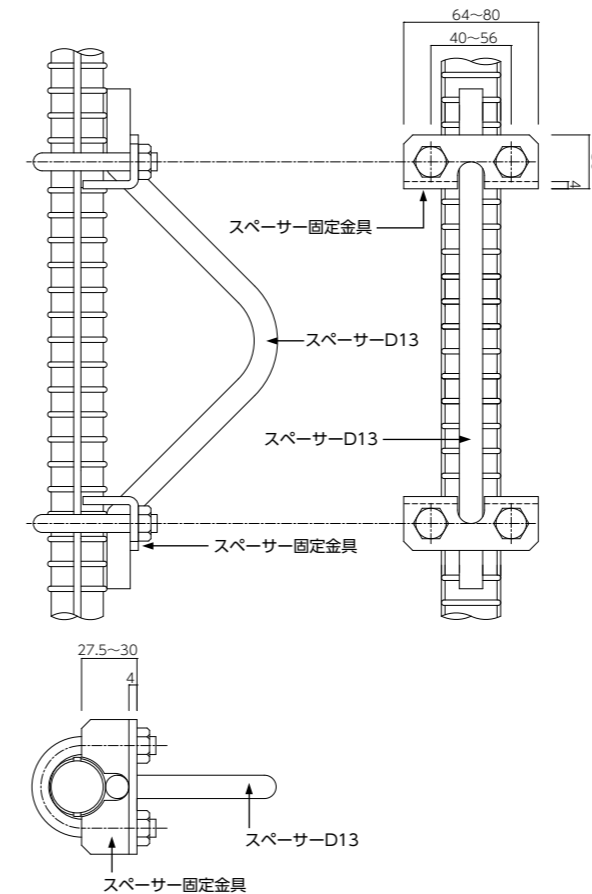


- 3 締める
スペーサーの立ちを確認し固定する。



※スペーサーは別売りになりますので、ご支給頂くか、ご注文を承ります。

製品図面



※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

取付の注意点

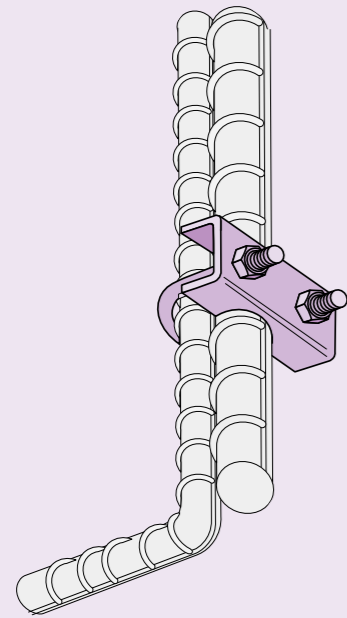
- ※ スペーサー1ヶ所当り2ヶの金具で取付けますが、金具をスペーサーの中央に向かって押込むように取付けて下さい。座金の切欠きがスペーサーの横倒れを防止します。
- ※ 鉄筋スペーサーがD16の場合は座金での対応が可能です。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは15以下10N・m以上で管理をお願いします。

無溶接金具 ⑥ 井桁筋固定金具

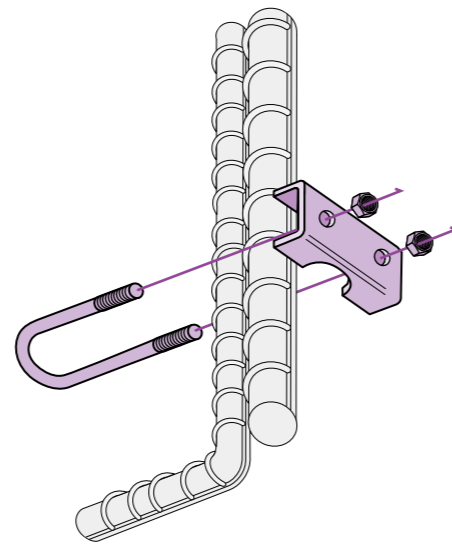
適合サイズ D16~D51

用途

主筋と井桁筋の固定用

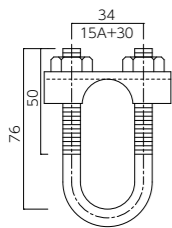


取付要領

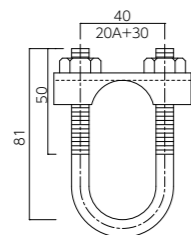


製品図面

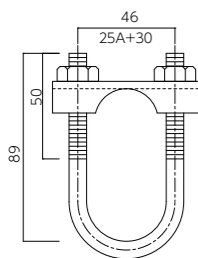
D22



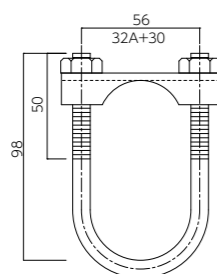
D25~29



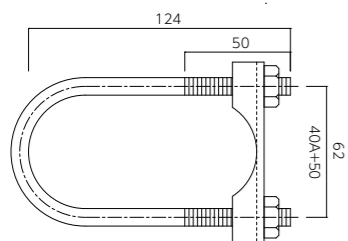
D32~35



D38~41



D51



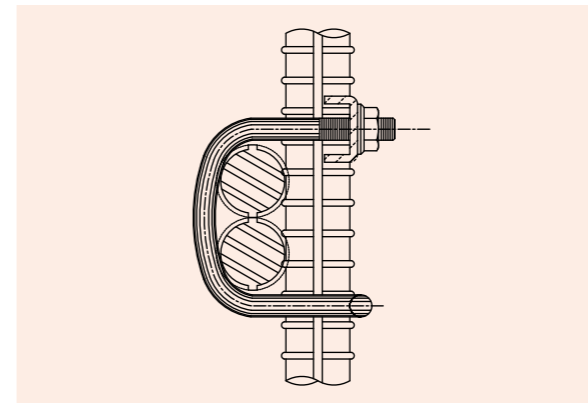
※製品の寸法・形状・材質は性能改善の為、予告なく変更することがあります。

取付の注意点

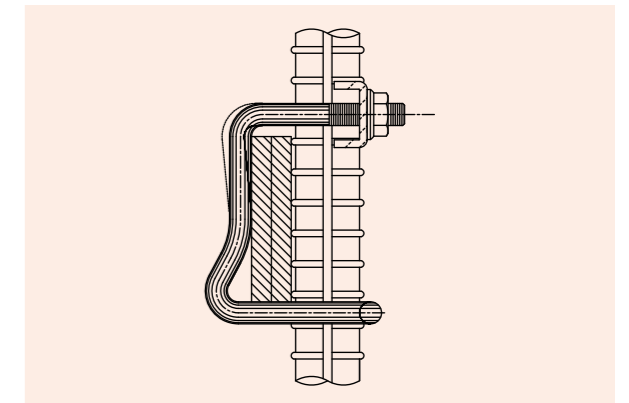
- ※ 主筋の本数÷2の個数を標準の使用数量とし、未使用カ所は番線等で補強して下さい。
- ※ ディープソケット#17をご用意下さい。また締付トルクは25以下10N・m以上で管理願います。

その他

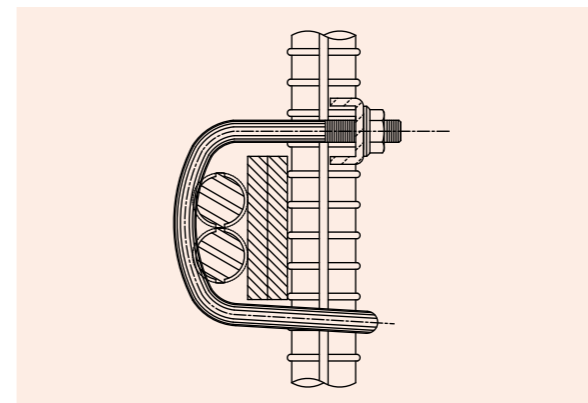
- 組立補強材の重ね継手部と主筋が交差する部分に使用する金具は「KSクルリン」・「ねじれ防止金具」ともにWタイプをご利用下さい。



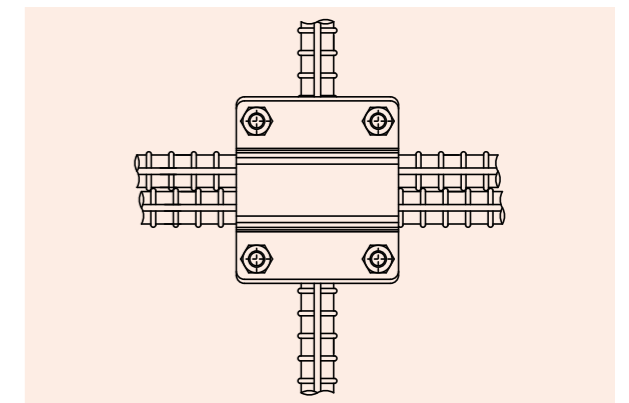
KD-W



KF-W

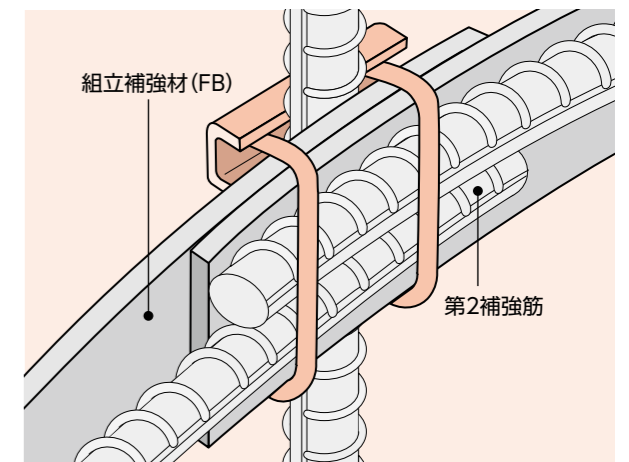


KFD-W



ねじれ防止金具-W

※特にKFD-Wタイプは組立補強材 (FB) のセンターに第2補強筋がくるよう注意する事でKSクルリンの寸法が足りなくなるトラブルを防ぐ事ができます。又、組立補強材 (FB) 及び第2補強筋の重ね継手部は同一ヶ所にまとめるようにお願いします。 ※KFD-Wタイプはそれを前提に製作寸法を決定しています。



補強材 継手部

- KSクルリンのお見積り時には「重ね継手」部の長さを設計図面から判断しますが、図面から算出する数と施工時の必要数に違いが出ることがあります。「重ね継手」部の長さについては、物件毎にご相談させていただく必要がありますのでお手伝いさせていただきますよう、ご協力をお願いします。

①KSクルリン取付け手順

(取り付けの際はねじれ防止金具の後から取付けて下さい。)



① 主筋と補強材の交点にKSクルリンを設置する。



② 付属の座金を取り付ける。



③ ナットで仮固定。



④ インパクトレンチで締め付けて完成です。
(ディープソケット #17)
(締め付トルク 10N \leq 25N)

①'ねじれ防止金具取付け手順



① 主筋と補強材の交点にねじれ防止金具を
(バーリング加工している金物) 補強材側
に取り付ける。



② もう1つのねじれ防止金具(バーリング加工
していない金物)を主筋側に取り付ける。



③ ボルトで仮固定。



④ インパクトレンチで締め付けて完成です。
(締め付トルク 20N \leq 25N)

補強リング

(社)日基協のガイドランに沿った「平鋼・L型鋼製 補強リング+ Uボルト」

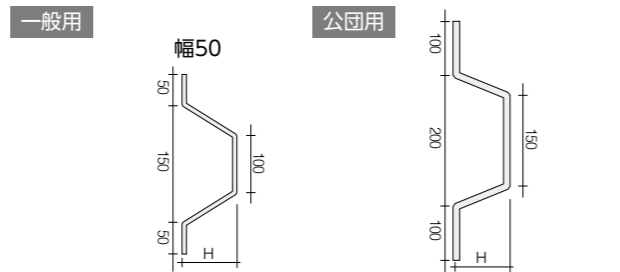
(社)日本基礎建設協会の「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご無溶接工法 設計・施工に関するガイドライン」への対応も万全です。

従来のウィークポイントであった高コスト構造を改め「低コスト化」さらには「高精度化」にも成功。様々な形の無溶接工法に対応いたします。



SPスペーサー (杭用スペーサー)

SPスペーサーは、場所打ちコンクリート杭の鉄筋かごの”横かぶり”の確保に使用します。SPスペーサーは、ネジ止め、または溶接により固定します。



●上記H寸法(かぶり)とプレートの厚みは現場の仕様に合わせて製作します。

- ※ 尚、常時在庫分もありますのでお問い合わせ下さい。
- ※ Rタイプも()も製作できます。



※SS400製作可能です



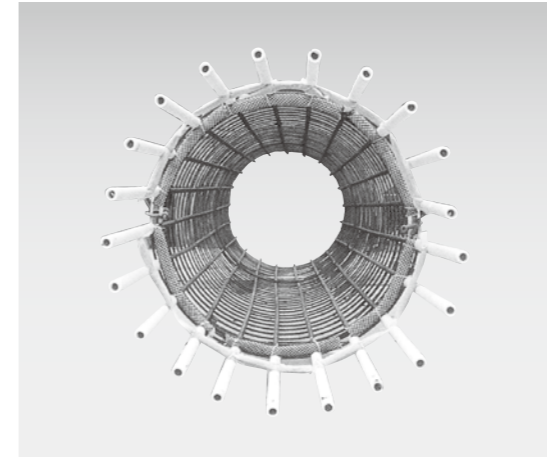
※無溶接Rタイプ(孔アキ)



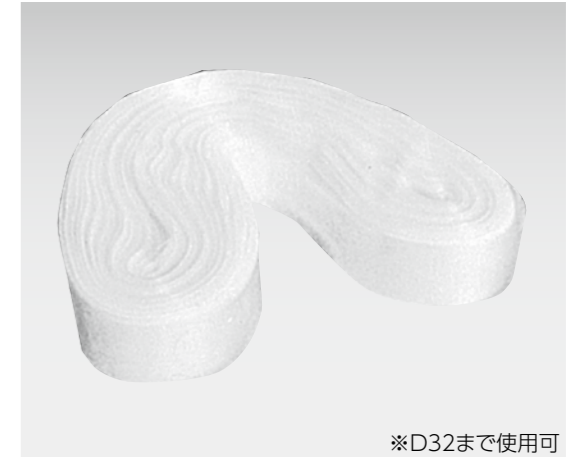
※無溶接SPスペーサー(孔アキ)

※仕様につきましてはお問い合わせをお願いします。

杭頭鉄筋養生カバー



● 鉄筋ハツリカバー



● ビニール袋(500m巻)

※D32まで使用可

材質：発砲ポリエチレン

名称	品番	内径×厚さ×長さ	入数	
鉄筋ハツリカバー 6mm型1m	D-22	AR-3621	26mm×6mm×1,000mm	200本/ポリ袋
	D-25	AR-3625	29mm×6mm×1,000mm	170本/ポリ袋
	D-29	AR-3631	33mm×6mm×1,000mm	150本/ポリ袋
	D-32	AR-3637	36mm×6mm×1,000mm	130本/ポリ袋
	D-35	AR-3643	39mm×6mm×1,000mm	120本/ポリ袋
	D-38	AR-3647	42mm×6mm×1,000mm	80本/ポリ袋
鉄筋ハツリカバー 6mm型1.5m	D-25	AR-3627	29mm×6mm×1,500mm	120本/ポリ袋
	D-29	AR-3633	33mm×6mm×1,500mm	100本/ポリ袋
	D-32	AR-3639	36mm×6mm×1,500mm	80本/ポリ袋
鉄筋ハツリカバー 2m	D-22	AR-3623	26mm×6mm×2,000mm	140本/ポリ袋
	D-25	AR-3629	29mm×6mm×2,000mm	120本/ポリ袋
	D-29	AR-3635	33mm×6mm×2,000mm	100本/ポリ袋
	D-32	AR-3641	36mm×6mm×2,000mm	80本/ポリ袋
	D-35	AR-3645	39mm×6mm×2,000mm	100本/ポリ袋
	D-38	AR-3649	42mm×6mm×2,000mm	80本/ポリ袋
	D-41	AR-3651	48mm×8mm×2,000mm	70本/ポリ袋
	D-51	AR-3652	57mm×10mm×2,000mm	50本/ポリ袋

※他サイズも取り扱っております。

W筋用ハツリカバー (D29・D32兼用)	AR-3653	D29-D32W筋対応6mmx2,000mm	60本/ポリ袋
W筋用ハツリカバー (D35・D38兼用)	AR-3654	D35-D38W筋対応7mmx2,000mm	45本/ポリ袋

※異形・別注品のロット製造も承っております。
他にも規格品もございますので、お気軽にご連絡ください。